

履修カルテの記入について

教職課程準備室

みなさんに行っていただく履修カルテの記入は、教職課程に関する授業の履修状況をふまえて、自身のキャリア形成についてあらためて確認してもらうことを目的としています。履修カルテは教職課程を設置している全国の大学で実施されており、教職課程の履修にあたって必須の課題となっています。

履修カルテの入力画面には、campusmate から入ることができます。入力の方法については、「履修カルテの入力方法」という資料で解説していますので、そちらの手順に従って、記入するようにしてください。

なお、令和7年度の教育実習に参加される方の入力の締め切りは、2024年11月11日(月)となっています。内諾書の提出および履修カルテの入力をもって教育実習への参加が認められます。(来年度、科目等履修生又は学内進学し教育実習を行う予定の方も入力が必要です。)

履修カルテの記入は、免許取得にあたり必要な科目の履修状況の確認も兼ねています。教育実習を履修するためには、前年度までに習得すべき単位数の最低基準が定められています。これらについて、教職課程の手引きや各学部の履修案内などで確認した上で、記入するようにしてください。

記入にあたって

履修カルテは、これまでの学習の振り返りをした上で、今後の計画を立てることが求められています。自身で達成できている点、あるいは達成できていない点を把握し、それらの点を伸ばすあるいは克服するために、今後、どのような取り組みを行っていくかと考えているのかを記してください。

今回、記入するのは「履修状況シート」「学外活動シート」になります。それぞれのシートの記入欄に入力する際の留意点について以下に記しておきます。

履修状況シート

「履修科目に対する実績と今後の課題」

こちらは、履修科目の領域においてできたこと、また、今後、それにどのように向き合っていくかと考えているのかを記してください。

※今年度履修中につき、入力時点で記載ができない項目については、「履修中」と記載しておき、一旦確定（「登録内容を確認する」を押下）させ、単位修得後、記載が可能となったら更新してください。

学外活動シート

こちらの記載内容は、教職課程の授業科目とは、直接の関係があるわけではありません。

しかしながら、教職に必要な資質・能力を身につけるにあたって、授業外で有益な経験をしている方は少なくありません。例では、部活動について記していますが、この他にも学外でのボランティアなど教職に必要な資質に関係すると考える活動について記入してください。

自己評価シートについて

「自己評価シート」は、教育実習終了後、教職において必要とされる能力ごとに、自己評価をするものになります。そのため、教育実習を履修する年度になるまでは入力しませんが、記入内容についてご紹介しておきます。「履修状況シート」では科目ごとに記入しましたが、「自己評価シート」は必要な能力ごとに記入することになります。

○「達成度」

こちらはそれぞれの「必要な能力」を習得できた度合いに応じて、達成度を選択してください。一番良い評価が5となっており、以下、4、3、2、1と続きます。

○「自己評価」

それぞれの「必要な能力」について自己評価を具体的に記します。

○「教職を目指す上で課題と考えている事項について記入してください。」

こちらは各シートに記入した内容を総合して考えたことを中心にまとめます。